

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

PWS-110RX1Aによるインターネット経由でのライブストリーミングを行う方法を説明するヘルプガイドです。
撮影に使用するカムコーダーとの接続や、使用するPWS-110RX1Aの登録と出力設定、ストリーミング実行時に必要な操作を説明します。

概要

[このシステムでできること](#)

[システム構成例](#)

[準備と操作の流れ](#)

起動と終了

[電源を入れる](#)

[Connection Control Managerの管理画面を起動する](#)

[証明書を更新する](#)

[証明書をインポートする](#)

画面の構成

[ストリーミング画面の構成](#)

[ファイル転送画面の構成](#)

[設定画面の構成](#)

受信システムの設定

[ネットワークの設定を行う](#)

[Connection Control Managerの初期設定を行う](#)

[レシーバーを登録する](#)

[Connection Control Managerで受信・出力設定を行う](#)

送信機器の設定

[ワイヤレスアダプターをNetwork Client Modeに設定する](#)

[カムコーダーをNetwork Client Modeに設定する](#)

[XDCAM pocketを設定する](#)

ストリーミング操作

[ストリーミングを開始する](#)

[カムコーダーの制御画面を表示する](#)

[撮影地点を地図上に表示する](#)

ファイル転送操作

[カムコーダーのクリップをFTPサーバーに転送する](#)

インターラム操作

[インターラム操作](#)

その他

[ライセンスを適用する](#)

[対応フォーマット](#)

[制限事項](#)

[商標](#)

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

このシステムでできること

PWS-110RX1Aは、ネットワーク経由でライブストリーミングを行うシステムです。ネットワーク機能を持つカムコーダーにより撮影現場から送信されたストリーミング映像をPWS-110RX1Aで受信し、SDI信号として出力することでライブストリーミングを実現します。

また、カムコーダーのSDカードに保存されている映像ファイル（クリップ）を、PWS-110RX1Aからの制御で外部のFTPサーバーに転送できます。

PWS-110RX1Aは、ストリーミング映像を受信するStreaming Receiverと、カムコーダーと本機との間のコネクションを管理するConnection Control Managerで構成されます。Connection Control ManagerはクライアントPCのWebブラウザーに表示できるWeb GUIを備え、複数のコネクションを一括管理できます。

関連項目

- [システム構成例](#)
- [対応フォーマット](#)

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

システム構成例

PWS-110RX1Aを使ってライブストリーミングを行うシステムの構成例を示します。

特記事項

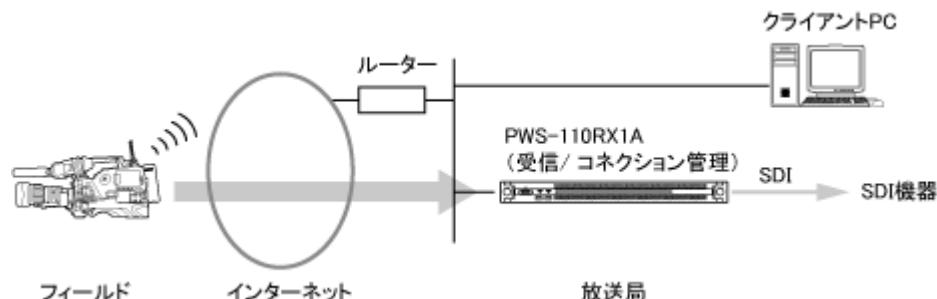
- 本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツ、オペレーションシステム、およびソフトウェアには、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更される場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターを介した接続、もしくは同機能を有した LAN ポートへの接続を行ってください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

ご注意

- セキュリティの問題が発生すると、製品がインターネットを通じてマルウェア（悪意のあるソフトウェア）などによる被害を受け、お客様の情報やコンテンツが抜き取り・改ざんなどのセキュリティの脅威にさらされてしまうことがあります。またそれだけでなく、お使いの機器が知らないうちに各種ネットワークサービスに損害を与える可能性もあります。
- 本製品は、Microsoft Windows ファイアウォールが有効な状態でお使いください。

1台のPWS-110RX1Aで構成した場合

PWS-110RX1Aを1台だけ使用する小規模なシステムです。1台のPWS-110RX1Aでストリーミングの受信とコネクション管理を行います。



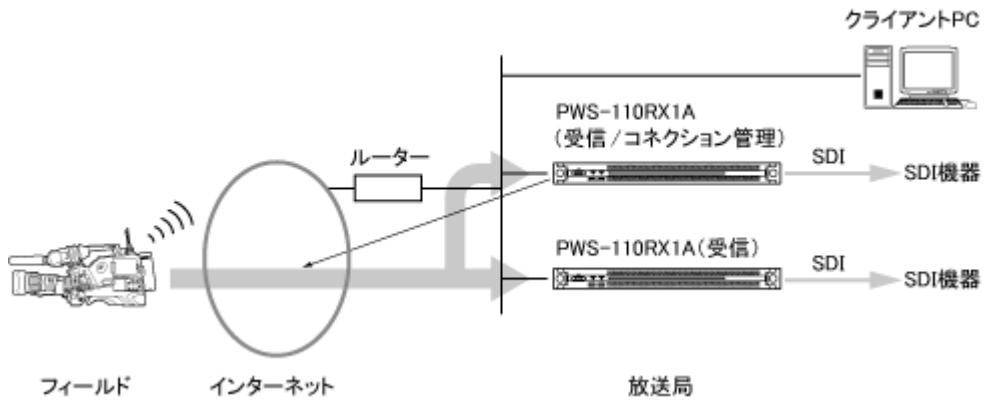
ご注意

- カムコーダーからストリーミングを送信するには、ワイヤレスアダプターCBK-WA100/101を取り付けたカムコーダー、またはネットワーク機能を搭載したカムコーダーが必要になります。対応するカムコーダーについては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

複数のPWS-110RX1Aで構成した場合

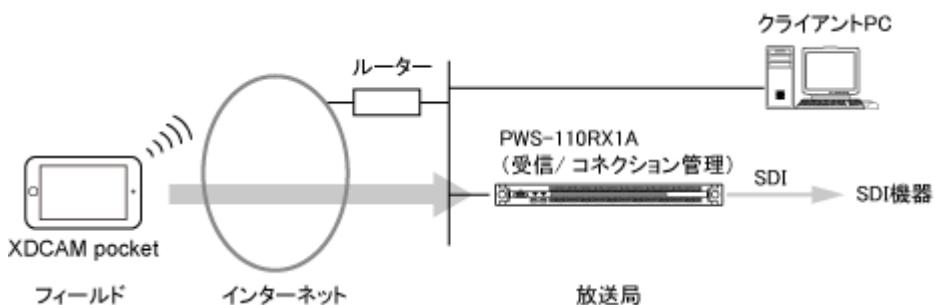
ストリーミングの受信を行うPWS-110RX1Aを増やすこともできます。下記は、1台のPWS-110RX1Aでストリーミングの受信とコネクション管理を行い、別の1台でストリーミング受信を行う構成の例です。

複数台構成で使用する場合は、PWS-110RX1A本体ではなく、クライアントPCのWebブラウザーから操作を行ってください。



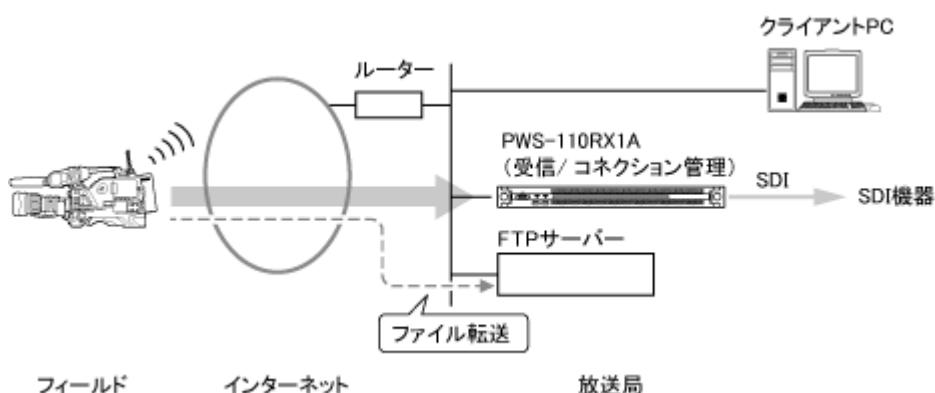
XDCAM pocketを使用する場合

XDCAM pocketからのストリーミングを受信することができます。XDCAM pocketを使用する場合は、別途ライセンスが必要です。



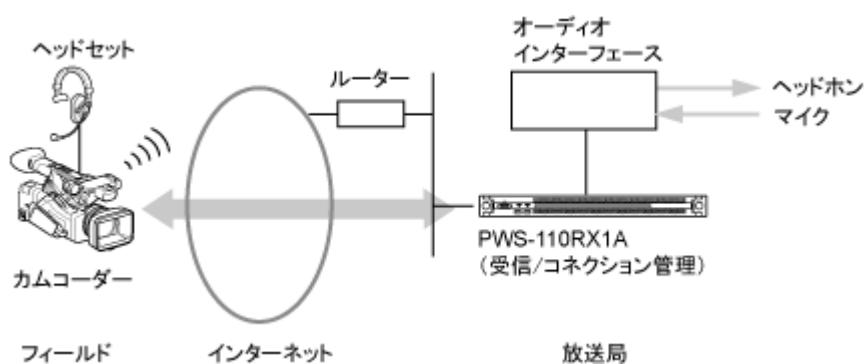
カムコーダーからファイルをFTPサーバーに転送する場合

カムコーダーのSDカードに保存されているクリップ（映像ファイル）をFTPサーバーに転送できます。下記のように、PWS-110RX1Aと同じネットワーク上にFTPサーバーを設置します。



インターラムを使用する場合

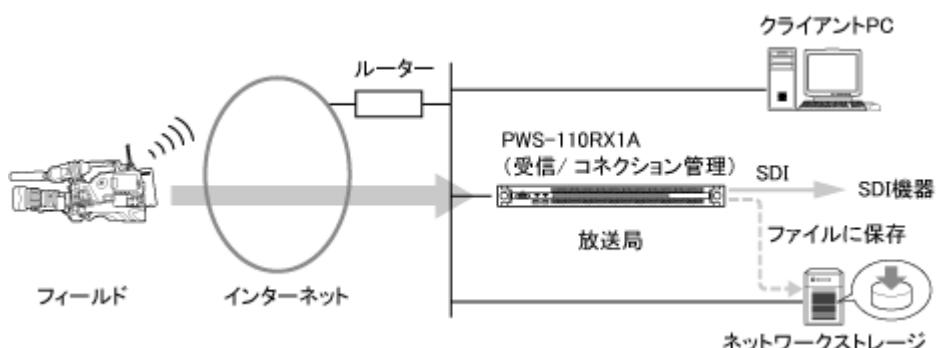
インターラム機能を持つカムコーダーを使用して、放送局とフィールドの間で通話をすることができます。オーディオインターフェースは別売です。対応機種については、「Software Update Guide」をご覧ください。インターラムを使用する場合は、別途ライセンスが必要になります。



ストリーミング中の映像をファイルに保存する場合

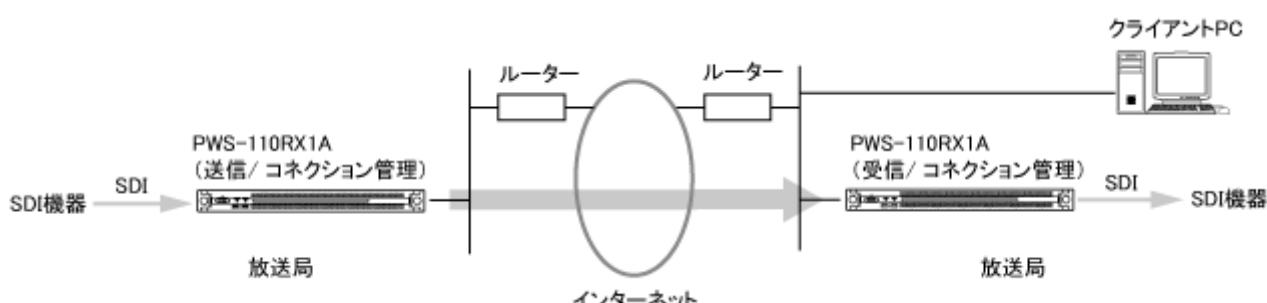
ストリーミング中の映像の保存先として、PWS-110RX1Aと同じネットワーク上にネットワークストレージを接続します。

ストリーミング中の映像をファイルに保存する場合は、PWS-110RX1A本体ではなく、クライアントPCのWebブラウザーから操作を行ってください。



Point-to-Pointストリーミングを行う場合

PWS-110RX1AのSDI入力を別のPWS-110RX1Aにストリーミングします。



関連項目

- [このシステムでできること](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

準備と操作の流れ

本システムを使用するには、次の流れで準備と操作を行います。なお、C3 Portalをご使用の場合は、あらかじめ本機および送信機器をC3 Portalに登録する必要があります。登録方法について詳しくは、C3 Portalのヘルプガイドをご覧ください。

1 事前設定

1. ネットワークの設定を行う

放送局内に設置したPWS-110RX1Aとフィールド（撮影現場）のカムコーダーまたはXDCAM pocketを接続するために、必要なネットワーク設定を行います。

2. Connection Control Managerの初期設定を行う

本システムを構成するPWS-110RX1Aのうちの1台について、Connection Control Managerの初期設定を行います。

3. レシーバーを登録する

Initialization Toolを使用して、Streaming Receiverを動作させるすべてのPWS-110RX1AをConnection Control Managerに登録します。

4. Connection Control Managerで受信・出力設定を行う

Connection Control Managerの管理画面を起動して、ストリーミングの出力設定を行います。

2 操作（撮影現場）

● ワイヤレスアダプターをNetwork Client Modeに設定する

ワイヤレスアダプターを取り付けたカムコーダーを撮影に使用する場合に、ワイヤレスアダプターをNetwork Client Modeに設定します。

● カムコーダーをNetwork Client Modeに設定する

ネットワーク対応カムコーダーを撮影に使用する場合に、カムコーダーをNetwork Client Modeに設定します。

● XDCAM pocketを設定する

XDCAM pocketを使用する場合に、スマートフォンでXDCAM pocketを起動します。

3 操作（放送局内）

1. Connection Control Managerの管理画面を起動する

Connection Control Managerを実行しているPWS-110RX1Aと同じネットワークに接続しているクライアントPC上のWebブラウザーからConnection Control Managerにログインします。

2. ストリーミングを開始する

Connection Control Managerで、撮影現場のカムコーダーから受信した映像をストリーミング配信します。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

電源を入れる

PWS-110RX1Aを使用するときは、次の操作で電源を入れます。

- 1 PWS-110RX1Aの初期設定を行うときは、前面のUSB端子にキーボードとマウスを接続し、背面のHDMI端子にディスプレイを接続する。

初期設定が終わったPWS-110RX1Aではこの操作は不要です。ネットワークに正しく接続されていることを確認してください。

- 2 PWS-110RX1Aのオン／スタンバイボタンを押す。

オン／スタンバイボタンのインジケーターが緑色に点灯します。

- 3 ディスプレイにWindowsのサインイン画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力し、サインインする。

工場出荷時に設定されているユーザー名は「rx1」、パスワードは「rx1」です。初期設定時にユーザー名とパスワードを変更し、次回以降はそのユーザー名とパスワードを入力してください。

電源を切るには

PWS-110RX1Aのオン／スタンバイボタンを2秒以上長押しします。PWS-110RX1Aがスタンバイ状態になり、オン／スタンバイボタンのインジケーターが赤色に点灯します。

ご注意

- PWS-110RX1Aには電源スイッチはありません。電源コードが接続されているときは、スタンバイ状態かオン状態のどちらかになります。電源コードを取り外すことで完全に電源を切ることはできますが、その場合はPWS-110RX1Aがスタンバイ状態（オン／スタンバイボタンのインジケーターが赤色に点灯した状態）になっていることを確認してください。
- セキュリティを確保するため、初期設定パスワードは必ず変更してください。
- サインイン時にパスワード変更が要求された場合は、新しいパスワードを設定してください。

関連項目

- [Connection Control Managerの管理画面を起動する](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

Connection Control Managerの管理画面を起動する

Connection Control Managerに接続するには、本システムと同じネットワークに接続されたクライアントPCで次のように操作します。

- ① Webブラウザー（Google Chrome 64以上）を起動する。
- ② アドレス欄に「<https://<PWS-110RX1AのIPアドレス>:443>」または「<https://<PWS-110RX1Aのホスト名>:443>」と入力する。
- ③ ユーザー名とパスワードを入力してログインする。

工場出荷時に設定されているユーザー名は「Admin」、パスワードは「123456」です。初回ログイン時、パスワード変更が必要になります。

ログイン後、Connection Control Managerのストリーミング画面が表示されます。

Connection Control Managerの管理画面からログアウトするには

ストリーミング画面で【ログアウト】をクリックします。ログイン画面に戻ります。

ご注意

- Webブラウザーからアクセスしたときに、SSL証明書に関するメッセージが表示されることがあります。その場合は、「[証明書をインポートする](#)」の手順を実行して、証明書をインポートしてください。証明書の有効期限が切れた場合は、「[証明書を更新する](#)」を参照し、証明書を再発行してください。
- 同時にログインできるユーザーは、最大3名です。最大数に達した場合、管理者（設定画面の【CCM】タブ - 【システム】 - 【ユーザー名（1）】で指定したユーザー）がログインしようとするとエラーメッセージと【RELEASE】ボタンが表示されます。【RELEASE】ボタンをクリックすると、すべてのセッションを切断することができます。
- セキュリティ確保のため、ユーザー名とパスワードは必ず変更してください。

関連項目

- [ストリーミングを開始する](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

証明書を更新する

PWS-110RX1Aのホスト名を変更した場合、または証明書の有効期限が切れた場合は、下記の手順に従って証明書を更新してください。

1 下記の手順でコマンドプロンプト（管理者）を起動する。

1. Windows にサインインする。
2. すべてのWebブラウザーを閉じる。
3. キーボードのWindowsキーとXキーを同時に押す。
クイックアクセスメニューが表示されます。
4. [Command Prompt (Admin)] を選択する。

2 以下のコマンドを入力し、証明書ファイルを生成する。

```
"C:\Program Files\Sony Corporation\CCM\MakeCertificate.exe" -force
```

3 以下のコマンドを入力し、証明書ファイルをインポートする。

```
certutil -addstore ROOT C:\CCM-Server\ca.crt
```

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

証明書をインポートする

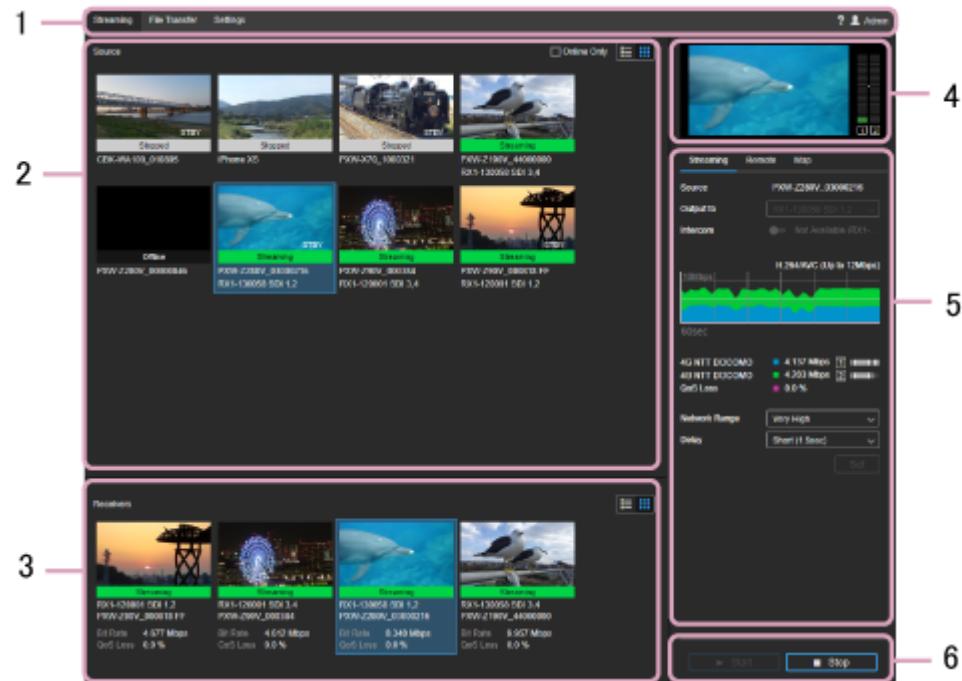
Webブラウザーからアクセスしたときに、SSL証明書に関するメッセージが表示されることがあります。クライアントPCを使用する場合は、クライアントPC上で下記の手順を実行してください。下記の手順は Windows における手順です。証明書のインポート方法について詳しくは、各OSのマニュアルを参照してください。

- ① すべてのWebブラウザーを一旦閉じる。
- ② PWS-110RX1A上の証明書ファイル（C:\CCM-Server\ca.crt）をクライアントPC上の任意の場所にコピーする。
- ③ クライアントPC上で、コピーした証明書ファイル（ca.crt）をダブルクリックする。
- ④ [Install Certificate...] ボタンをクリックする。
- ⑤ [Local Machine] ラジオボタンをオンにする。
- ⑥ [Next] ボタンをクリックする。
- ⑦ User Account Controlダイアログが表示された場合は [Yes] ボタンをクリックする。
- ⑧ [Place all certificates in the following store] ラジオボタンをオンにする。
- ⑨ [Browse...] ボタンをクリックする。
Select Certificate Store ダイアログが表示されます。
- ⑩ [Trusted Root Certification Authorities] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。
- ⑪ [Next] ボタンをクリックし、[Finish] ボタンをクリックする。
- ⑫ hosts ファイル（C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts）に PWS-110RX1Aのホスト名を登録する。
ホスト名は、PWS-110RX1Aのコマンドプロンプトでhostnameコマンドを実行することで確認できます。
登録後、「https://<PWS-110RX1Aのホスト名> : 443」にアクセスできることを確認してください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

ストリーミング画面の構成

ストリーミング画面では、ストリーミングを行うデバイスを表示し、ストリーミングの開始/停止などの操作を行います。



1 グローバルヘッダー

タブやアイコンをクリックして、画面を移動します。

- **ストリーミング** : ストリーミング画面を表示する。
- **ファイル転送** : ファイル転送画面を表示する。
- **設定** : 設定画面を表示する。
- **⚠ (警告)** : Connection Control Managerの管理画面に接続するためのサーバー証明書の有効期限が近いことを警告する。「[証明書を更新する](#)」を参照して、サーバー証明書を更新してください。
- **ⓘ (通知)** : ライセンス期限についての注意を表示する。
- **? (ヘルプ)** : ヘルプおよびEULAを表示する。
- **⚑ (ユーザー名)** : ログアウトする。

2 ソースエリア

ストリーミング出力を行うデバイスをサムネイル形式またはリスト形式で表示します。

サムネイル形式では、サムネイル、ストリーミングの状態

(Streaming/Unstable/Stopped/Reserved/Disabled/Offline/SRT Ready)、送信機器名（カムコーダーの機種またはXDCAM pocket、またはSRT Caller）、受信機器名（PWS-110RX1A）を表示します。また、サムネイル上に送信機器の録画状態を [REC]（録画中）、または [STBY]（スタンバイ）と表示します。

リスト形式では、送信機器名と受信機器名を表示します。

- **オンラインのみ** チェックボックス : オンライン（SRT Readyも含む）のデバイスのみを表示します。
- **リスト** ボタン : デバイスをリスト形式で表示します。
- **サムネイル** ボタン : デバイスをサムネイル形式で表示します。

3 レシバーエリア

ストリーミングを受信するデバイスをサムネイル形式またはリスト形式で表示します。

サムネイル形式では、サムネイル、ストリーミングの状態（Streaming/Unstable/Stopped/Reserved/Offline）、送信機器名（カムコーダーの機種またはXDCAM pocket）、受信機器名（PWS-110RX1A）、ビットレート、ストリーミングのロス率を表示します。PWS-110RX1A側でストリーミング映像をファイルに保存している場合は、サムネイル上に^{REC}アイコンを表示します。RTMP出力を行った場合は、サムネイル上に^{RTMP}アイコンを表示します。
リスト形式では、送信機器名と受信機器名を表示します。

- ボタン：デバイスをリスト形式で表示します。
- ボタン：デバイスをサムネイル形式で表示します。

4 プレビューエリア

ソースエリアで選択したストリーミングのプレビューを表示します。

ご注意

- プレビュー表示は、SDI出力との間に表示遅延があります。
- プレビュー表示は、SDI出力とは表示更新間隔が異なります。

5 設定エリア

選択しているソースのストリーミング設定を行います。

Streamingタブ

- Source : ストリーミングをしているデバイスの名前を表示します。
- Output to : ストリーミングの出力先となるPWS-110RX1AおよびSDIポートを選択します。ストリーミングの実行中は変更できません。
- Intercom : インターカム機能をオン/オフします。また、インターフェース機能の状態を表示します。状態について詳しくは、「[インターフェース操作](#)」をご覧ください。
- グラフ : ビットレートとストリーミングのロス率の変化、およびコーデックを表示します。
- キャリア : カムコーダーとの通信に使用している回線のキャリア名とビットレートを表示します。表示される情報は、接続しているカムコーダーおよびカムコーダーの状態によって異なります。
- QoS Loss : ストリーミングのロス率を表示します。
- Network Range : ストリーミングの解像度と最大ビットレートを選択します。[Very High]、[High]、[High (F)]、[High (R)]、[Middle]、[Low]、[Very Low]のいずれかを選択できます。選択可能な値は、接続しているカムコーダーおよびカムコーダーの状態によって異なります。
- Target Bit Rate : [CCM] タブの「ターゲットビットレート設定を使用する」をオンにしているときに、ここでターゲットビットレートを選択できます。[Network Range] の設定に応じて、選択できるビットレートが異なります。
- Delay : ストリーミングの遅延時間を選択します。[Very Short (0.7s)]、[Very Short (1s)]、[Short (1.5s)]、[Middle (3s)]、[Long (5s)]、[Very Long (10s)]のいずれかを選択できます（設定値に示されている遅延時間は目安です。ネットワークの遅延が加算されるため、実際の遅延時間とは異なることがあります）。
- Set ボタン : [Network Range]、[Target Bit Rate]、[Delay] の設定の変更を反映します。

ご注意

- SRTを使用する場合は、[Network Range]、[Target Bit Rate]、[Delay] の設定はできません。設定画面のRX設定とSRT Caller側の設定が使われます。

Remoteタブ

ご注意

- 各機能は、対応カムコーダーでのみ有効です。
- 表示されるボタンやスイッチ、操作パネルは、接続するカムコーダーによって異なります。

- Camera Control スイッチ：カムコーダーのリモート制御を有効にします。
- Proxy REC スイッチ：カムコーダーでプロキシファイルを記録するかどうかを設定します。

Mapタブ

ご注意

- この機能は、対応カムコーダーでのみ有効です。
- Show Location ボタン：カムコーダーの現在位置を地図上に表示します。

6 ストリーミング操作エリア

ストリーミングの操作を行います。

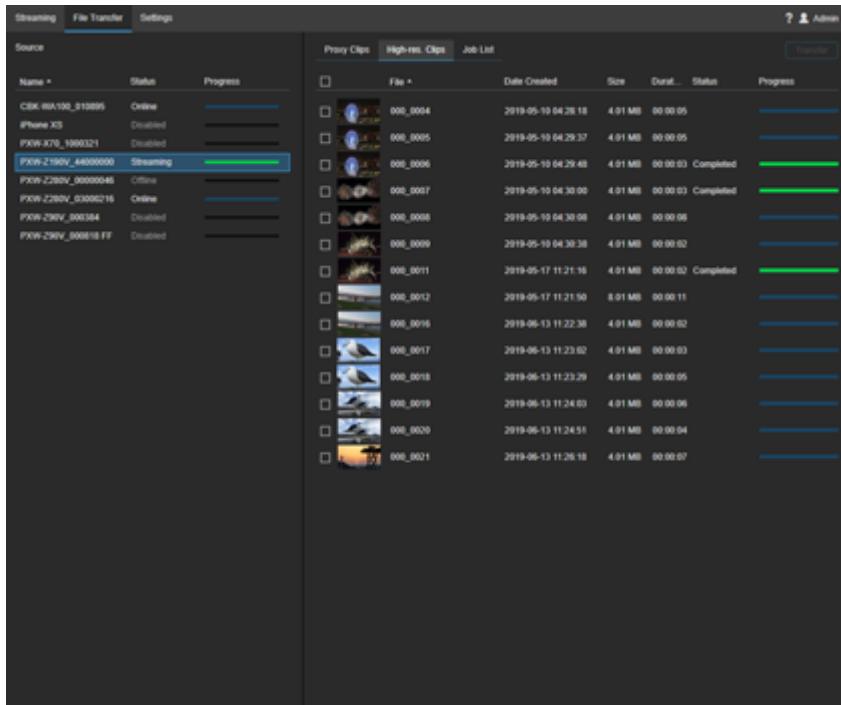
- Start ボタン：ストリーミングを開始します。SRTを使用する場合、レシーバーがSRT Listenerモードでオンラインになります。画面の指示に従って、SRT Callerからストリーミングを開始してください。
- Stop ボタン：ストリーミングを停止します。

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

ファイル転送画面の構成

ファイル転送画面では、カムコーダーからFTPサーバーにクリップを転送するための設定を行います。転送するクリップの指定や、転送ジョブの操作を行います。



ソースエリア

ファイル転送を行うデバイスをリスト形式で表示します。

[Proxy Clips] タブ

[ソース] で選択したデバイスに保存されているプロキシクリップを一覧表示します。各クリップの先頭のチェックボックスをチェックすることで、転送するクリップを選択します。

- ファイル転送先：ファイルの転送先をドロップダウンから選択します。ファイル転送ごとに転送先を指定できます。選択しているデバイスの種類や設定によっては、転送先を指定できない場合があります。
- Transferボタン：選択されているクリップを転送ジョブリストに追加します。

[High-res. Clips] タブ

[ソース] で選択したデバイスに保存されているオリジナルクリップを一覧表示します。パラレル記録（プロキシクリップを同時に記録）したクリップのみプレビュー表示が可能です。各クリップの先頭のチェックボックスをチェックすることで、転送するクリップを選択します。

- ファイル転送先：ファイルの転送先をドロップダウンから選択します。ファイル転送ごとに転送先を指定できます。選択しているデバイスの種類や設定によっては、転送先を指定できない場合があります。
- Transferボタン：選択されているクリップを転送ジョブリストに追加します。

[Job List] タブ

[Proxy Clips] タブまたは [High-res. Clips] タブで転送を実行したクリップのジョブの一覧と、現在の転送状況が表示されます。

- Delete : 一覧で選択されているジョブをリストから削除します。
- Clear Completed Jobs : FTPサーバーへの転送が完了したジョブを一覧から削除します。

関連項目

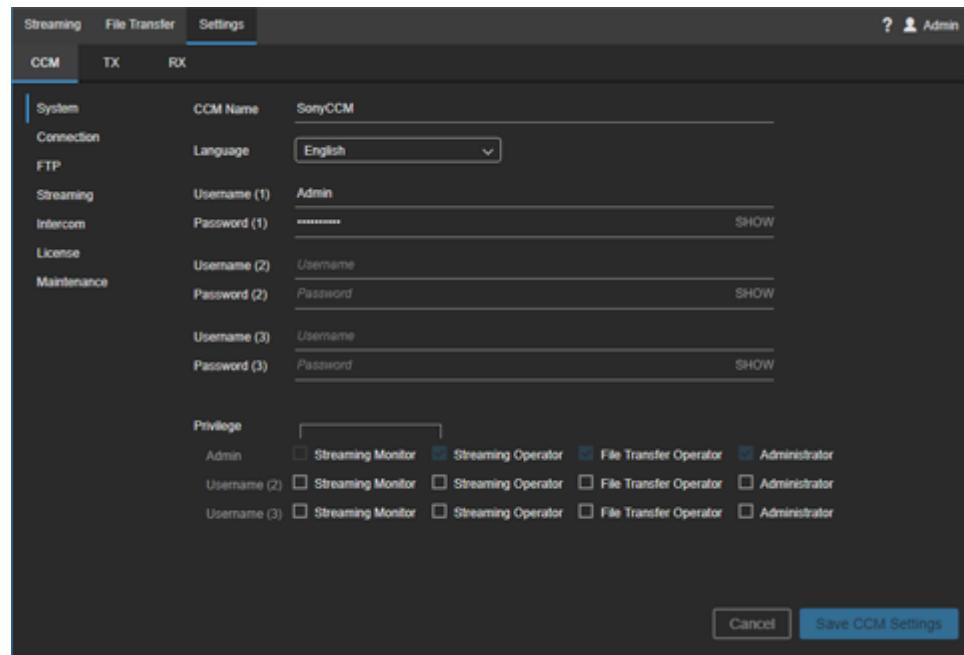
- [ストリーミング画面の構成](#)
- [カムコーダーのクリップをFTPサーバーに転送する](#)
- [Connection Control Managerで受信・出力設定を行う](#)

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

設定画面の構成

設定画面では、Connection Control Manager、送信側のカムコーダー、受信を行うPWS-110RX1Aの設定を行います。画面上部のタブでページを切り替えます。



[CCM] タブ

Connection Control Managerの設定を行います。

[システム]

- CCM名 : Connection Control Managerの名称を入力します。
- 言語 : Connection Control Managerの表示言語を選択します。
- ユーザー名 (1) : Connection Control Managerにログインするときの管理用ユーザー名を入力します。
- パスワード (1) : 上記ユーザーのパスワードを入力します。【表示】をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- ユーザー名 (2) / ユーザー名 (3) : Connection Control Managerにログインする一般ユーザー名を入力します。一般ユーザーは2つ設定できます。
- パスワード (2) / パスワード (3) : 上記ユーザーのパスワードを入力します。【表示】をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- 権限設定 : 各ユーザーに対する権限を設定します。チェックすると、権限を付与します。
 - ストリーミング閲覧 : ユーザーにストリーミング閲覧の権限を付与します。
 - ストリーミング操作 : ユーザーにストリーミング操作の権限を付与します。
 - ファイル転送操作 : ユーザーにファイル転送操作の権限を付与します。
 - 設定管理 : ユーザーに設定管理の権限を付与します。

[接続]

Connection Control Managerに送受信機器からログインする際の設定をします。

TX接続

- ユーザー名（1） / ユーザー名（2）：カムコーダーからConnection Control Managerにログインする際のユーザー名を入力します。ユーザーは2つまで設定できます。
- パスワード（1） / パスワード（2）：上記ユーザーのパスワードを入力します。 [表示] をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- 利用ポート：カムコーダーからConnection Control Managerに接続するときに使用するTCPポート番号です。

[TX接続] の各項目を変更した場合は、設定を保存した後に各カムコーダーを再接続してください。

XDCAM pocket接続

- ユーザー名（XPT）：XDCAM pocketからConnection Control Managerにログインする際のユーザー名を入力します。
- パスワード（XPT）：上記ユーザーのパスワードを入力します。 [表示] をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- 利用ポート：XDCAM pocketからConnection Control Managerに接続するときに使用するTCPポート番号です。

[XDCAM pocket接続] の各項目を変更した場合は、設定を保存した後にXDCAM pocketを再接続してください。

Point to Point接続

- ユーザー名：Point-to-Point用のストリーミングを送信するPWS-110RX1AからConnection Control Managerにログインする際のユーザー名を入力します。
- パスワード：上記ユーザーのパスワードを入力します。 [表示] をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- 利用ポート：ストリーミングを送信するPWS-110RX1AからConnection Control Managerに接続するときに使用するTCPポート番号です。

[Point to Point接続] の各項目を変更した場合は、設定を保存した後にPWS-110RX1A上でInitialization Toolを実行し、再接続してください。

RX接続

- ユーザー名：ストリーミングを受信するPWS-110RX1AからConnection Control Managerにログインする際のユーザー名を入力します。
- パスワード：上記ユーザーのパスワードを入力します。 [表示] をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- 利用ポート：ストリーミングを受信するPWS-110RX1AからConnection Control Managerに接続するときに使用するTCPポート番号です。

[RX接続] の各項目を変更した場合は、設定を保存した後にPWS-110RX1A上でInitialization Toolを実行し、再接続してください。

[FTP]

FTP設定は5つまで設定できます。それぞれの設定タブを選択し、各項目を設定してください。

- FTPサーバー設定1を有効にする：FTPサーバーを使用する場合に、オンにします。
- FTPサーバー名：FTPサーバー名を入力します。
- FTPサーバーアドレス：FTPサーバーのIPアドレスまたはFQDN（例：ftp.example.com）を指定します。
- FTPサーバーポート：FTPサーバーのポートを入力します。FTPプロトコルを使用する場合は「21」を指定します。
- パッシブモードで転送する：FTPサーバーとの接続にパッシブモードを使用するかどうかを指定します。FTPサーバーの管理者にご確認ください。
- FTPSを使用する：FTPS接続をするかどうかを指定します。
- FTPSサーバCA証明書（PEM）：FTPS接続を行うために使用するサーバーCA証明書の内容を表示します。 [選択] ボタンをクリックし、.pemファイルを選択してください。FTPS接続を行わない場合、この項目の設定は不要です。
- CNとCRLを検証する：FTPS接続を行う際にコモンネーム（CN）と証明書失効リスト（CRL）の検証を行うかどうかを指定します。

- FTPユーザー名：FTPサーバーに接続するユーザー名を入力します。
- FTPパスワード：FTPサーバーに接続するユーザーのパスワードを入力します。
- アップロードディレクトリ：FTPサーバーのアップロード先ディレクトリをフルパスで入力します
(例：/home/sony)。ディレクトリを指定しなかった場合は、ルート直下にアップロードされます。
- サブディレクトリ名：[送信機名を使う] チェックボックスをオンにすると、アップロード先ディレクトリに送信機名のサブディレクトリを作成して、ファイルをアップロードします。チェックボックスをオフにし、[アップロードディレクトリ] にディレクトリを指定した場合は、アップロード先ディレクトリの直下にファイルをアップロードします。チェックボックスをオフにし、[アップロードディレクトリ] にディレクトリを指定しなかった場合は、ルート直下にアップロードした日付のサブディレクトリを作成して、ファイルをアップロードします。
- [チェック] ボタン：入力したFTP設定のチェックを行います。

[ストリーミング]

- ターゲットビットレート設定を使用する：ストリーミング画面の設定エリアで、ターゲットビットレートをマニュアルで設定できるようにするかどうかを指定します。チェックボックスをオンにすると、設定エリアの [Network Range] の設定に応じて、[Target Bit Rate] の設定値を選択できます。
- HEVCを使用する（可能な場合）：H.265/HEVCを使用する場合にチェックボックスをオンにします。本機能の使用には、別途ライセンスが必要です。送信機器がH.265/HEVCに対応していない場合や、送信機器側でH.265/HEVCを有効にしていない場合は、オンにしていてもH.265/HEVCでの送信は行われません。

[インターラム]

インターラム機能を使用する場合に、カムコーダーと受信側のPWS-110RX1Aとの関連付けを [Receiver Audio Ch.] で行います。

インターラム機能を使用する場合は、事前にInitialization Toolを使ってオーディオチャンネルを登録しておく必要があります。詳しくは、「[レシーバーを登録する](#)」をご覧ください。

[ライセンス]

送信機器のライセンス適用状況を表示します。

- [ライセンス追加] ボタン：新規にライセンスを適用します。
- [CSVの書き出し] ボタン：ライセンス適用状況をCSVファイルに出力します。

[ダッシュボード]

ストリーミングの利用状況を表示します。

- Streaming Time：ストリーミング利用の累積時間をグラフ表示します。
- Streaming Performance：ストリーミング履歴をグラフ表示します。グラフエリアをクリックし、マウスホイールを操作すると、ズームイン/アウトします。左右にドラッグ操作を行うと表示範囲をスクロールします。

[メンテナンス]

- CCM Software Version：Connection Control Managerのソフトウェアバージョンを表示します。
- CCM Software Settings：[保存] ボタンを押すと設定ファイルがバックアップされます。バックアップファイルは、C:\CCM-Server\backup フォルダー以下に出力されます。バックアップとリストアの方法について詳しくは、Software Update Guideをご覧ください。

[TX] タブ

送信側のカムコーダーまたはワイヤレスアダプターの設定を行います。

- (Add SRT Caller) ボタン：SRT Callerを追加します。ボタンをクリックするとTX設定が1行追加されます。名前を入力し、グループを選択してください。設定が終わったら、[TX設定を保存] ボタンをクリックしてください。
- Name：Connection Control Managerに表示するカムコーダーまたはワイヤレスアダプターの名称を入力します。
- Group：カムコーダーまたはワイヤレスアダプターが所属するグループを選択します。
- Model Name：カムコーダーまたはワイヤレスアダプターのモデル名を表示します。
- Serial No.：カムコーダーまたはワイヤレスアダプターのシリアル番号を表示します。
- Software Version：カムコーダーまたはワイヤレスアダプターのソフトウェアバージョンを表示します。
- FTPサーバー名：ドロップダウンからFTPサーバーの設定（規定値）を選択します。

- (削除) ボタン : カムコーダーまたはワイヤレスアダプターを一覧から削除します。
- [グループ編集] ボタン : グループを編集します。

[RX] タブ

受信を行うPWS-110RX1Aの設定を行います。

一覧

- Name : Connection Control Managerに表示する名称を表示します。
- Model Information : モデル名およびシリアル番号を表示します。
- Software Version : Streaming Receiverのソフトウェアバージョンを表示します。
- MSQ Information : 装着されているMSQボード（SDI入出力ボード）のバージョン情報を表示します。
- (削除) ボタン : PWS-110RX1Aを一覧から削除します。

設定項目

- Name : Connection Control Managerに表示する名称を入力します。
- 外部ホスト名 : インターネットからこのPWS-110RX1AにアクセスするためのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 外部ポート範囲 : インターネットからストリーミングを受信するためのUDPポートの開始番号を入力します。
- SRT Listener Port (SDI 1,2) : SRTで受信する場合、SDI 1/2に出力するときに使われる受信ポート番号が表示されます。外部ポート範囲の中から選択します。
- SRT Listener Port (SDI 3,4) : SRTで受信する場合、SDI 3/4に出力するときに使われる受信ポート番号が表示されます。外部ポート範囲の中から選択します。

SDI設定

- 解像度 : 出力映像の解像度を選択します。
- フレームレート : 出力映像のフレームレートを選択します。
- リファレンスロック : SDI出力をロックさせる外部同期信号を選択します。
 - Free Run : 外部同期信号にロックしません。
 - SD Black Burst / Composite : ブラックバースト信号にロックします。
 - HD Tri-level Sync : 3値シンク信号にロックします。
- Output : 外部同期信号に対するSDI出力のロック状態を示します。
- Output Signal : ストリーミング停止中に出力する画像として [Color Bar] または [User Image] を指定できます。 [Black] を指定すると、黒画面が出力されます。 [User Image] を指定する場合は、出力画像として表示する画像ファイル（解像度1920×1080のJPEG画像またはBMP画像）を、Initialization Toolで指定します。
- SDI (1,2) Port Name / SDI (3,4) Port Name : SDI 1/2 と SDI 3/4 ごとに、ポート名を変更できます。

SRT Listener Settings

SRT受信の設定を行います。設定は、SRT Caller側の設定と合わせてください。

- Resolution : 入力映像に期待される画面サイズが表示されます。SDI設定の解像度と同じ値が表示されます。
- フレームレート : 入力映像に期待されるフレームレートが表示されます。SDI設定のフレームレートと同じ値が表示されます。
- Codec : 入力映像のコーデックを選択します。
- Latency (20 - 8000 ms) : 遅延量を20~8000ミリ秒の間で設定します。送信側と受信側でそれぞれ遅延量が設定でき、大きい方の値が採用されます。
- Encryption : 暗号化の有効/無効、および暗号化方式を選択します。AES-128はpbkeylen=16、AES-256はpbkeylen=32に相当します。暗号化を有効にした場合、同じ方式で暗号化されたストリーミング以外は受け付けません。
- Passphrase : 暗号化に使用するパスフレーズを入力します。

Output Option Settings

受信したストリーミングを出力するオプションを選択します。

- SDI Output Only : SDI端子にのみ出力します。

- P2P Enabled : Initialization ToolでPoint-to-Point機能を使う設定にした場合、 [P2P Enabled] が自動的に選択され、変更できません。
- File Output : ファイル出力を有効にします。
- RTMP Output : RTMP出力を有効にします。

ファイル出力 (SDI 1,2のみ)

- モード : ストリーミング中の映像をファイルに保存する方法を指定します。 [Sync with Streaming] を指定したときはストリーミング開始とともにファイルの保存も開始し、ストリーミング終了時に保存も終了します。 [Sync with REC Flag] を指定したときは、カムコーダーから送信されるREC/STOPフラグに従ってファイルの保存が開始・終了します。 [Off] を指定したときは、ファイルへの記録は行われません。
- 保存先 : ファイルの保存先をネットワークパスで指定します。 (例：「¥¥Server¥Share」、 「D:¥」) 保存先の文字列には、Windowsのフォルダーネームに使用できる半角英数字または記号を使用してください。保存先には、エクスプローラーからアクセスできるストレージを指定してください。PWS-110RX1Aのシステムドライブは、保存先に指定できません。
ネットワークストレージに保存する場合、ネットワークストレージはPWS-110RX1Aと同じネットワークに接続します。詳細は使用するネットワークストレージの取扱説明書をご覧ください。
- ユーザー名 : 指定したファイルの保存先へのアクセスにユーザーアカウントの入力が必要な場合に、そのユーザー名を入力します。
- パスワード : 上記ユーザー名に設定されているパスワードを入力します。
- 自動削除 : 保存されたファイルの自動削除をするかどうかを指定します。自動削除を行うときは、 [On] を選択し、ファイルを保存しておく日数および削除を実行する時刻を指定します。

RTMP出力 (SDI 1,2のみ)

- Stream URL : RTMP出力先URLを入力します (例：rtmp://rtmp.example.com:1935/live) 。RTMPS出力をする場合は、URLに「rtmps://」を指定します (例：rtmps://rtmps.example.com:443/live) 。
- Stream Name / Key : ストリーミング名またはキーを入力します。
- RTMP認証 : 認証が必要な場合はチェックボックスをオンにします。
- ユーザー名 : [RTMP認証] を有効にした場合に、ユーザー名を入力します。
- パスワード : [RTMP認証] を有効にした場合に、パスワードを入力します。
- 解像度 : RTMP出力の解像度を選択します。

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

ネットワークの設定を行う

PWS-110RX1Aを放送局内のネットワークに接続します。また、フィールド（撮影現場）のカムコーダーとPWS-110RX1Aを接続するために、放送局内のLANとWANを結ぶルーターの設定や、カムコーダーの設定も必要です。設定の詳細は『システムインテグレーションガイド』をご覧ください。

関連項目

- [Connection Control Managerの初期設定を行う](#)
- [レシーバーを登録する](#)
- [Connection Control Managerで受信・出力設定を行う](#)

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

Connection Control Managerの初期設定を行う

システムを構成するPWS-110RX1Aのうち任意の1台は、他のPWS-110RX1Aやカムコーダー、SDI出力の登録と管理をする役割を担います。そのPWS-110RX1AのConnection Control Managerの管理画面を起動し、設定を行います。

- ① Connection Control Managerの初期設定を行うPWS-110RX1Aの電源を入れ、Connection Control Managerの管理画面を起動する。
- ② グローバルヘッダーの【設定】をクリックして設定画面を表示してから、【CCM】タブをクリックする。
- ③ 【CCM名】に、現在接続しているPWS-110RX1Aに付ける名前を入力する。
- ④ Connection Control Managerにログインする管理者のユーザー名とパスワードを、【システム】タブの【ユーザー名(1)】と【パスワード(1)】にそれぞれ入力する。
- ⑤ Connection Control Managerの表示言語を切り替えるときは、【言語】で言語を選択する。
- ⑥ カムコーダーからConnection Control Managerにログインするユーザーのユーザー名とパスワードを、【接続】>【TX接続】の【ユーザー名(1)】と【パスワード(1)】にそれぞれ入力する。
- ⑦ XDCAM pocketを使用する場合は、XDCAM pocketからConnection Control Managerにログインするユーザーのユーザー名とパスワードを、【接続】>【XDCAM pocket接続】の【ユーザー名(XPT)】と【パスワード(XPT)】にそれぞれ入力する。
- ⑧ PWS-110RX1AからConnection Control Managerにログインするユーザーのユーザー名とパスワードを、【接続】>【RX接続】の【ユーザー名】と【パスワード】にそれぞれ入力する。
- ⑨ 【CCM設定を保存】をクリックして設定を保存する。

一般ユーザーを設定するには

クライアントPCからConnection Control Managerにログインする一般ユーザーを設定するには、【システム】タブの【ユーザー名(2)】 / 【ユーザー名(3)】と【パスワード(2)】 / 【パスワード(3)】に、一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力します。同じ画面で、一般ユーザーの権限を設定できます。

関連項目

- [Connection Control Managerの管理画面を起動する](#)
- [ストリーミング画面の構成](#)
- [設定画面の構成](#)
- [ネットワークの設定を行う](#)
- [レシーバーを登録する](#)
- [Connection Control Managerで受信・出力設定を行う](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

レシーバーを登録する

Initialization Toolを使用して、本システムにPWS-110RX1Aを登録します。すべてのPWS-110RX1Aに対してこの操作を行います。

- 1 Streaming Receiverの初期設定を行うPWS-110RX1Aの電源を入れる。**
- 2 スタート画面の [Initialization Tool] アイコンをダブルクリックして、Initialization Toolを起動する。**
- 3 初回起動時は、EULA (END USER LICENSE AGREEMENT) に同意する。**

お使いの地域を右上のドロップダウンメニューから選択してください。
- 4 [Settings] をクリックする。**
- 5 Connection Control Managerについて下記の設定を行い、[Next] をクリックする。**
 - [CCM Address] : Connection Control ManagerのIPアドレスまたはホスト名 (FQDN) を入力する。
localhostまたはC3 Portalに接続する場合は、プリセットされているアドレスをドロップダウンメニューから選択してください。
 - [CCM Port] : Connection Control Managerのポート番号「9083」が設定されます。
[CCM Address] でC3 Portalのアドレスを選択した場合は、「443」に変更されます。
 - [Username] 、 [Password] : Streaming ReceiverからConnection Control Managerにログインするためのユーザー名とパスワードを入力する。
設定画面の [接続] > [RX接続] に登録したユーザー名とパスワードを入力してください。
C3 Portalを使用する場合は、C3 Portalの [Settings] 画面 > [System] > [Credential] > [Receiver] に設定したユーザー名とパスワードを入力してください。
- 6 SDI端子について下記の設定を行い、[Next] をクリックする。**
 - [Select SDI Input/Output configuration] : 下記のオプションのいずれかを選択する。
 - [Use both SDI 1/2 connectors and SDI 3/4 connectors as outputs] : 2つのストリーミング入力をそれぞれSDI端子のペア (SDI 1/2とSDI 3/4) に出力する。
 - [1-stream to output SDI-3/4 pair, and input from SDI-1 and output 1-stream] : ストリーミング入力 (1つ) をSDI 3/4のペアに出力し、SDI 1へのSDI入力をPoint-to-Point用にストリーミング出力する。
 - [1-stream to output SDI-3/4 pair, and output color bars to 1-streams] : ストリーミング入力 (1つ) をSDI 3/4のペアに出力し、カラーバーをPoint-to-Point用にストリーミング出力する。
 - [1-stream to output SDI-3/4 pair, and input from SDI-1 and output 1-stream] または [1-stream to output SDI-3/4 pair, and output color bars to 1-streams] を選んだ場合は、接続相手のConnection Control Managerのアドレスと接続ポート、およびログインするためのユーザー名とパスワードを入力する。
 - [Use an image file for SDI outputs] : ストリーミング停止中にSDI端子に画像を出力する場合にチェックする。チェックしたときは、出力する画像ファイルを指定する。

- 7 インターカム機能を使用する場合は、[Enable Intercom function] をチェックし、オーディオインターフェースとオーディオ入出力を選択して、[Start] をクリックする。

選択できるオーディオチャンネルは、接続しているオーディオインターフェースに依存します。Windowsのコントロールパネルでオーディオの設定を確認してください。

Connection Control Managerへの接続が行われ、PWS-110RX1Aの登録が行われます。

設定完了画面が表示されたら、[OK] をクリックします。他にもPWS-110RX1Aがあるときは、同様の手順で登録します。

Streaming Receiverを初期化するときは

Initialization Toolを起動して、[Reset] をクリックします。

関連項目

- [ネットワークの設定を行う](#)
- [Connection Control Managerの初期設定を行う](#)
- [Connection Control Managerで受信・出力設定を行う](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

Connection Control Managerで受信・出力設定を行う

受信設定とSDI出力の設定

Streaming Receiverがストリーミング受信に使用するIPアドレスとUDPポートを設定します。
また、PWS-110RX1AからSDI信号を出力する際の出力方式を設定します。

- ① クライアントPCからConnection Control Managerにログインする。
- ② 設定画面を表示し、【RX】タブをクリックする。
- ③ 設定を行いたいPWS-110RX1Aを選択する。
- ④ 【Name】にConnection Control Managerに表示するこのPWS-110RX1Aの名称を入力する。
- ⑤ 【外部ホスト名】にインターネットからこのPWS-110RX1AにアクセスするためのIPアドレスまたはホスト名を入力する。
- ⑥ 【外部ポート範囲】にインターネットからストリーミングを受信するためのUDPポートの開始番号を入力する。
- ⑦ 出力するSDI信号の設定を行う。
 - [解像度] : 解像度を選択します。
 - [フレームレート] : フレームレートを選択します。
 - [リファレンスロック] : ロックさせる外部同期信号を選択します。ロックさせない場合は、「Free Run」を選択します。
- ⑧ 【RX設定を保存】をクリックして設定を保存する。

関連項目

- [Connection Control Managerの管理画面を起動する](#)
- [ストリーミング画面の構成](#)
- [設定画面の構成](#)
- [ネットワークの設定を行う](#)
- [Connection Control Managerの初期設定を行う](#)
- [レシーバーを登録する](#)
- [ファイル転送画面の構成](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

ワイヤレスアダプターをNetwork Client Modeに設定する

ワイヤレスアダプターを取り付けたカムコーダーを撮影に使用する場合は、次のように操作してワイヤレスアダプターをNetwork Client Modeに設定します。

- ①** ワイヤレスアダプターをカムコーダーに取り付ける。
- ②** LTEモデムとワイヤレスLANモジュールをワイヤレスアダプターに取り付ける。
- ③** カムコーダーとワイヤレスアダプターの電源を入れる。
- ④** スマートフォンやタブレットなどからワイヤレスアダプターにアクセスし、設定画面を表示させる。
- ⑤** Network Client Modeを設定する。
- ⑥** Network Client ModeをOnにする。

ご注意

- 取り付けや設定方法の詳細は、カムコーダーおよびワイヤレスアダプターのマニュアルをご覧ください。
- ワイヤレスアダプターの日付と時刻をPWS-110RX1Aの日時と合わせてください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

カムコーダーをNetwork Client Modeに設定する

ネットワーク対応カムコーダーを撮影に使用する場合は、次のように操作してカムコーダーをNetwork Client Modeに設定します。

- 1** カムコーダーにLTEモデムを取り付ける。
- 2** カムコーダーの電源を入れる。
- 3** カムコーダーの設定メニューを開く。
- 4** Network Client Modeを設定する。
- 5** Network Client ModeをOnにする。

ご注意

- 取り付けや設定方法の詳細は、カムコーダーのマニュアルをご覧ください。
- カムコーダーの日付と時刻をPWS-110RX1Aの日時と合わせてください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

XDCAM pocketを設定する

XDCAM pocketを撮影に使用する場合は、次のように操作してXDCAM pocketで撮影を開始します。

- ① スマートフォンでXDCAM pocketを起動する。
- ② XDCAM pocketで、【設定】 > 【接続】を開く。
- ③ 【接続先】に「Network RX Station」を選択し、Connection Control Managerに接続するためのアドレス、ポート番号、ユーザー名、パスワード、表示名を設定する。
- ④ XDCAM pocketで撮影を開始する。

ご注意

- H.265/HEVCでストリーミングをする場合は、XDCAM pocketの設定でH.265/HEVCを有効にする必要があります。
- XDCAM pocketの設定や操作の詳細は、XDCAM pocketのヘルプをご覧ください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

ストリーミングを開始する

ストリーミングの開始や停止は、Connection Control Managerのストリーミング画面で次のように操作します。撮影現場で送信機器を設定して、ストリーミングの送信ができるようにしてください。

- ① ソースエリアで、サムネイルが表示されている送信機器を選択する。
- ② 設定エリアの【Output to】で、出力するSDIポートグループを選択する。
- ③ 設定エリアの【Network Range】で、ストリーミングの最大ビットレートを選択する。
- ④ 設定エリアの【Delay】で、ストリーミング映像の遅延時間を選択する。
- ⑤ 【Set】をクリックして設定エリアの設定内容を保存する。
- ⑥ ストリーミング操作エリアの【Start】をクリックする。
ストリーミング映像の配信が開始します。

ストリーミングを停止するには

ストリーミング操作エリアの【Stop】をクリックします。

ストリーミング中の映像をファイルに保存するには

設定画面の【RX】タブの【ファイル出力 (SDI 1,2のみ)】をオンにすることで、SDI1、2ポートへストリーミングされている映像がファイルに保存されます。保存の開始と終了、保存先は、【RX】タブでの設定に従います。ファイルへの保存が行われている場合は、レシーバーエリアのサムネイルに アイコンが表示されます。ファイル保存時にエラーが発生すると、 アイコンが表示されます。エラーの場合は、保存先の状態を確認してください。

ストリーミング中の映像をRTMP出力するには

設定画面の【RX】タブの【RTMP出力 (SDI 1,2のみ)】をオンにすることで、SDI1、2ポートへストリーミングされている映像がRTMP出力されます。RTMP出力が行われている場合は、レシーバーエリアのサムネイルに アイコンが表示されます。RTMP出力時にエラーが発生すると、 アイコンが表示されます。エラーの場合は、RTMP出力先の状態を確認してください。

ご注意

- QoS Lossが発生する場合やストリーミング映像が安定しない場合は、設定エリアの【Delay】の値を大きくするか、または【Network Range】の値を小さくしてください。
- 【Delay】と【Network Range】はストリーミング中も変更可能ですが、変更するとストリーミング出力が一時的にフリーズしたり、乱れが生じることがあります。
- ストリーミング中は、【RX】タブの各設定項目は変更できません。
- ストリーミング中の映像をファイルに保存する際は720pに再エンコードされ、ファイルは約2時間で分割されます。
- 保存されたファイルは、すべての再生環境での動作を保証するものではありません。

- ストリーミング中の映像をファイルに保存またはRTMP出力する場合は、PWS-110RX1A本体ではなく、クライアントPCのWebブラウザーから操作を行ってください。
- SDI 3、4ポートへのストリーミングは保存されません。
- SDI 3、4ポートへのストリーミングはRTMP出力されません。
- 設定画面の【RX】タブー【RTMP出力 (SDI 1,2のみ)】の【解像度】で「1080p, 60fps」を選択した場合も、入力に合わせて50.00fps、59.94fps、60.00fpsのいずれかで出力されます。

関連項目

- [ストリーミング画面の構成](#)
- [制限事項](#)

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

カムコーダーの制御画面を表示する

Connection Control Managerからカムコーダーの制御画面を開き、カムコーダーを操作できます。ストリーミング画面で次のように操作します。

1 ソースエリアで、カムコーダーを選択する。

2 設定エリアで [Remote] タブを開き、[Camera Control] をクリックする。

選択したカムコーダーの制御画面が表示されます。カムコーダーの機種によっては、Webブラウザーの新しいタブに制御画面が表示されます。

関連項目

- [設定画面の構成](#)

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

撮影地点を地図上に表示する

送信機器のGPSで受信した位置情報をもとに、撮影地点を地図上に表示できます。この操作を行うには、送信機器のGPS機能を有効にする必要があります。詳細は送信機器の取扱説明書をご覧ください。
ストリーミング画面で、次のように操作します。

- ① ソースエリアで、送信機器を選択する。**
- ② 設定エリアで [Map] タブを開き、[Show Location] をクリックする。**

Webブラウザーに新しいタブが追加され、選択した送信機器の現在位置が地図上に表示されます。

ご注意

- 位置表示は、送信機器から有効な位置情報が取得できた場合のみ操作可能です。

関連項目

- [ストリーミング画面の構成](#)

カムコーダーのクリップをFTPサーバーに転送する

カムコーダーのクリップを、Connection Control Managerからの制御により、FTPサーバーに転送できます。ファイル転送画面で次のように操作します。

- ① グローバルヘッダーの【ファイル転送】をクリックし、ファイル転送画面を開く。
- ② ファイル転送画面のソースエリアで、カムコーダーを選択する。
- ③ [Proxy Clips] タブまたは [High-res. Clips] タブをクリックする。
選択したカムコーダーに保存されているクリップが一覧表示されます。
- ④ 転送するクリップのチェックボックスをクリックする。
- ⑤ [Transfer] をクリックする。
選択したクリップが転送ジョブリストに追加され、順次転送が行われます。
[Job List] タブをクリックすると、転送中のジョブの一覧が表示され、転送状況を確認できます。

クリップをプレビューするには

クリップリストでプレビューしたいクリップを選択し、再生アイコンをクリックします。プレーヤー画面が表示されます。

クリップリストに戻るには、プレーヤー画面左上の (戻る) ボタンをクリックします。

プレビュー表示中のクリップを転送するには

プレーヤー画面右上の (アップロード) ボタンをクリックします。クリップの一部分のみを転送したい場合は、IN点とOUT点を設定して、 ボタンをクリックします。

ご注意

- カムコーダーのクリップをFTPサーバーに転送する場合は、事前にConnection Control Managerの設定画面で、FTP接続のための設定を行ってください。
- カムコーダーがストリーミング中の場合は、ファイル転送が一時的に休止される場合があります。ストリーミングを停止すると、ファイル転送が再開されます。
- 記録メディアのフォーマットがFATの場合は、[High-res. Clips] タブでのファイル転送はできません。
- プレビュー表示はネットワークの状態やカムコーダーの状態によって、一時的に停止する場合があります。

関連項目

- [ファイル転送画面の構成](#)
- [Connection Control Managerで受信・出力設定を行う](#)

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

インターラム操作

インターラム機能を持つラムコーダーとPWS-110RX1Aを使用して、放送局とフィールドの間で通話をすることができます。

設定

- この機能を使用するには、別途ライセンスが必要です。
- USBオーディオインターフェースを使用するには、別途ドライバーが必要です。ドライバーについて詳しくは、「Software Update Guide」をご覧ください。
- Connection Control Managerで、あらかじめラムコーダーごとに通信するPWS-110RX1Aのチャンネルを指定しておいてください。

操作

インターラム機能を使用する場合は、ストリーミング画面の [Streaming] タブの [Intercom] スイッチをオンにしてください。

[Intercom] スイッチには、インターラム機能のステータスが表示されます。

- Offline : 送信機器側またはPWS-110RX1A側のインターラムがオフライン。または、Initialization Toolでインターラム機能を無効にしている。
- Not available : 送信側または受信側のインターラムが使用不可。または、オーディオインターフェースが未接続。
- In use : PWS-110RX1A側のオーディオチャンネルを他の送信機器が使用している
- Not connected : 未接続
- Connecting : 接続中
- Connected : 接続済み
- Unstable : 接続が不安定

ご注意

- ラムコーダー側のインターラム機能を有効にする方法については、ラムコーダーのマニュアルをご覧ください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

ライセンスを適用する

ライセンスを適用することでオプション機能が有効になります。

この操作を行う前に、あらかじめライセンスを購入し、購入キー入手しておいてください。また、ライセンスを適用する機器を本システムに登録しておいてください。

ご注意

- ライセンスの購入方法について詳しくは、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

① ライセンスを適用する機器の【機器固有ID】を確認する。

設定画面の【CCM】>【ライセンス】でライセンスを適用したい機器の【機器固有ID】を確認してください。

② Webブラウザーで「Upgrade and License Management Suite」にアクセスし、ライセンス購入時に入手した購入キーを登録する。

URL : <https://ulms.sony.net>

③ 「Upgrade and License Management Suite」で【機器固有ID】を登録する。

インストールキーファイルが作成されます。

④ インストールキーファイルを任意のフォルダーに保存する。

⑤ インストールキーファイルを取り込む。

1. Connection Control Manager画面に戻り、設定画面の【CCM】>【ライセンス】を開く。
2. 【ライセンス追加】ボタンをクリックする。
3. 【+】ボタンをクリックする。
4. インストールキーファイルを指定する。
5. 【インポート】ボタンをクリックする。
6. ステータスが「Imported」になったことを確認し、【閉じる】ボタンをクリックする。
7. 【CCM】>【ライセンス】で、機器のステータスが「Activated」になったことを確認する。

ご注意

- ライセンスの有効期限が近づいた場合、または期限切れになった場合、グローバルヘッダーにライセンス警告が表示されます。ライセンスの状態をご確認ください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

対応フォーマット

本システムが対応している、ストリーミング映像のフォーマットを示します。

SDI出力フォーマット

| | |
|-----------|-----------------------|
| 1920×1080 | 59.94p、59.94i、50p、50i |
| 1280×720 | 59.94p、50p |
| 720×576 | 50i |
| 720×480 | 59.94i |

ご注意

- カムコーダー側のシステム周波数が本機のSDI設定と異なる場合、フレーム周波数を変換する際に、ストリーミング映像・音声に乱れが生じる場合があります。

SDI入力フォーマット

| | |
|-----------|-----------------------|
| 1920×1080 | 59.94p、59.94i、50p、50i |
| 1280×720 | 59.94p、50p |

ご注意

- SDI端子に信号を入力する場合は、SDI出力と同じフォーマットの信号を入力してください。
- SDI端子に信号を入力する場合は、リファレンスロックをFree Runに設定してください。外部同期信号にロックさせる場合はリファレンス入力に同期したSDI信号を入力してください。

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

制限事項

本システムを使用するうえで、下記の制約事項があります。

- ネットワーク環境によっては、ストリーミングが途切れことがあります。
- カムコーダー（およびワイヤレスアダプター）をNetwork Client Modeに設定してから、Connection Control Managerのソースエリアにサムネイルが表示されるまでに数分かかる場合があります。
- サービスは予告なく変更・停止・終了する場合があります。また、第三者が提供するサービスについて、ソニーはいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation

NETWORK RX STATION
PWS-110RX1A Ver. 1.21 以降

商標

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびそのほかの国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™マークは明記していません。

5-046-964-03(1) Copyright 2015 Sony Corporation